



## もうすぐ春ですね

正月は瞬く間に過ぎ、今日は節分、明日は立春、暦の上では春です。天気予報では明日の御船町、晴れ間が広がり「光の春」が感じられそうです。10年ぶりの厳冬に耐えて頑張った御褒美ですね。

**御船の新米いただきました** 4年生から1月半ば、心のこもったお便りが添えられた新米をいただきました。開けたら、小ぶりの艶やかピカピカな御船米が、ほのかに甘い香りを立てていました。ありがとう4年生、大切にいただきます。

我々日本人は何千年もの間、米で命をつないできました。戦後、米離れが進みましたが、最近、食物繊維やビタミン、ミネラルたっぷりのお米が見直されています。

春に新米と、縁起のいいこと、この上なしです。

校長先生へ こんにちは、運動会にやった大玉は楽しかったです。こうちょう先生覚えていますか。ぼくは楽しかったです。四年生みんなで田うえをしていねかりをして、とれたお米です。ぴかぴかに光っているお米です。これからもおし事ががんばってください。ぼくもべんきょうがんばります。四年生より

## Here come the 清和文楽

お米といったら清和文楽です。命の糧、お米を収穫した後、自然の恵みに感謝し、米作りへの努力を称え合うために、古来より秋祭りを行ってきました。

山都町(旧清和村)には江戸時代に大阪から淡路島、四国を經由して人形浄



瑠璃が伝わってきており、農家の方々が仕事の合間に稽古し、清和文楽として秋祭りの神社の境内で村人に披露し、人気を博していました。時代の流れで昭和時代の終わりにはすたれていた文楽ですが、村人の熱意と尽力で見事に復活を果たし、現在の活躍に至ります。

子供たちは1月20日、清和文楽を鑑賞しました。団員の御厚意により低学年、高学年に分けての2部開催で心地よく鑑賞することができました。息の合った太夫の語りと三味線、三人一体の人形遣いの総合芸術を、じっくり鑑賞しました。

演目の合間には人形を遣わせてもらうなど、日本の伝統文化、農村文化に慣れ、触れ、親しむ体験ができました。穏やかな豊かな冬の1日となりました。